

式 辞

春爛漫の言葉の通り、木々に緑が映え、様々な花が咲き、光溢れる季節を迎えました。このすべての命が輝く今日の佳き日に、ご来賓各位ならびに保護者の皆様のご臨席を賜り、長崎県立五島南高等学校 第六十二回 入学式を挙行できますことは、私たち教職員一同、この上ない喜びであり、心より感謝申し上げます。

ただ今、入学を許可した 二十名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。教職員、在校生一同、皆さんの入学を祝福するとともに、心から歓迎いたします。また、島外から離島留学生として本校への進学を選択した四名の皆さん、ようこそ五島市へ。大きな期待と同じくらいの不安を抱えて、本日出席のことと思いますが、一年前の私がそうであったように、五島の方々の温かさは、すぐにその不安を取り除いてくれます。安心して日常生活を送ってください。

保護者の皆様におかれましては、お子さまと共に、本日の晴れやかな日を迎え、お喜びもひとしおのことと存じます。これまでのお子様の成長過程では、一喜一憂されたこともあったことでしょう。ここまで成長した姿に、万感の思いをいだいておられることとお察しし、衷心よりお祝い申し上げます。

また、ご来賓の皆様には、日頃から本校の教育活動に深いご理解と、力強いご支援をいただき、そして、本日ご多用の中、ご臨席を賜りましたことに、心より厚く御礼申し上げます。

今から七十六年前、本校の前身である、五島高等学校岐宿分校が開校され、その後、昭和四十二年に五島南高等学校として独立し、今年度は創立六十年という節目の年を迎えます。

新入生の皆さんには、開校以来、五千名を超える先輩たちが築いてきた伝統を受け継ぎながらも、令和の時代にあわせた新たな歴史を刻んでいってほしいと思います。

さて、皆さんがより充実した高校生活を送るために、また今後の人生において心に留めておいてほしいことを一つだけ述べます。

これからの高校生活の中では「失敗とどう向き合うか」を考えてください。これまで皆さんは、大小様々な成功と失敗を繰り返し、試行錯誤をしてここにいます。これまでの経験を通して、「失敗とどう向き合うか」何か自分なりの対処法やコツを見出せていますか。人は年を重ねるとどのような問題、課題であっても大抵のことに対処できるようになります。私たち教職員も、大学受験、資格試験、就職試験などの試験だけでなく、家庭、仕事、人間関係などの悩みに直面し、時にとんでもない失敗をしながら、なんとか今ここにいます。もっと早めに、もっとよく考えて行動すればよかったという後悔を繰り返したことで、計画的に動けるようになり、うまく生きる術を身につけ、徐々に失敗することが減っていくのです。これが「失敗とどう向き合うか」の一つの答えです。失敗から学び、少しずつ失敗が減っていくのは、人間が成長する過程で必要なことだと思います。学習や人間関係などでうまくいかずに、落ち込んだり、心が折れそうになったときに、回復する力を養ってください。

この力はレジリエンスと言い、日本語訳では「精神的回復力」、

「抵抗力」、「復元力」、「耐久力」、「再起力」と表現できます。

先生や家族、友人などに相談するなどして回復し、また、新たに挑戦していく。これから先、皆さんにとって必要な力です。挑戦する強さと柔軟性、すなわちレジリエンスを大きく育ててください。

一方で、失敗して落ち込むことを避けるために、新たなことに挑戦しなくなっているようにも感じます。すなわち、「今度こそは！」というような強い感情を持たなくなっているなど最近気づきました。私は学生の時に感じたとてつもなく悔しい思いや、20代の頃の自分が招いたミスや、的確に指摘された瞬間を今でも鮮明に思い出すことがあります。悔しさ、至らない自分への怒りが、「次はこうしよう」、「迷惑をかけた分、取り戻そう」という気持ちにさせて、自分を突き動かす原動力に変わっていったと思っています。

確かに、失敗することは怖いですが、あの時、失敗しなければ、現状の自分では手が届かないものに立ち向かうこと、努力することはなかったようにも思います。

また、努力の原動力はポジティブな感情よりネガティブな感情の方が圧倒的に強いとも感じています。負けたくない、恥をかきたくないという気持ちが、努力や頑張りを支えているのです。失敗を恐れて計算高く、賢く行動することは、まだまだ先の人生に残しておいてください。

高校での3年間は、一瞬です。スマホの画面越しに得られる情報だけでは何だかうまくいかないものです。授業、友だちと過ごす時間、学校行事など、人と接することでは得られない

スキルを獲得するように心がけてください。

その中には、友だちとの関係が思い通りにいかず不安な時、勉強の成果が出せず焦る時もあるでしょう。でもそんな状況にも抗い辛抱すれば、必ず成功する順番が回ってきます。

たとえ思い通りにならなくても、悔しい、悲しい、辛い、ネガティブな気持ちを強い推進力にして、駆け抜けてください。

悩んだら誰かに相談すればいいし、頼っていい。それは決して恥ずかしいことではありません。困ったときは友達、家族、学校に相談して、力を借りてください。今でも私はそうしています。まだ、若い皆さんが他人の力を借りることは、成長するために必要な行動です。そして、困った人がいたときは力を貸してあげればいい。自立するというのは、必要な時に、上手に他の力を借りることができることなのです。思いやりの連鎖を目指し、『おたがいさま』という言葉をもみんなで共有しましょう。

五島南高校での体験を通して、『おたがいさま』という気持ち、そして周りの人たちへの感謝の気持ちを学び、自立した人、成長し続けることのできる人になって、本校の教育活動の基本理念である『一人ひとりが主役の学校』を作り上げてほしいと思います。

二十名の新入生の皆さん、義務教育を終え、五島南高校という目的地に到着しました。三年後、この場所での卒業式に、ここにいる全員で参加し、素敵な笑顔と大きな希望をもって次の目的地に出発しましょう。

みなさんが、小さな出会いを大きな出会いに育て、この学校で、これからの長い人生を生きる礎を築いてくれることを切に願ひ、式辞といたします。

令和八年四月八日

長崎県立五島南高等学校
校 長 小西 仁